

地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業の実施、公表

1. 連携している地元産業界等の組織名称

函館市

2. 当該連携事業における地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標

課 題

市電の利用者が年々減少する中で、通勤や通勤時間帯以外の利用者を増やしたい

目 標

「市電の通勤・通学時間帯以外の利用者増」の提案をする

3. 2の課題の解決に向けて実施する取組みの内容

函館市企業局の担当者から市電について聞き取りを行った上で、函館市電のSWOT分析を行い、「若者、通勤、通学時間帯以外の利用が少ない」、「沿線付近に住んでいる人以外の利用がしづらい」という弱みと課題を明確にするなど、内部・外部環境分析を行った。

まずは、市電の利用頻度や目的などを調査し、実態を把握するために、市民および観光客約200名にアンケート調査を実施し、分析を行った。

この分析の結果、最終発表会では「市電の車内に市電オリジナルグッズを販売するガチャガチャを設置すること」や、「1日乗車券の提示で割引サービスを受けられる店舗が19店舗と限定的であるため、飲食店やスーパーを加盟させ、割引サービス対象施設を拡大すること」、「市電1日乗車券の販売の促進するため、函館市電の沿線をRPGのフィールドに見立てて冒険し、周遊型の謎解きイベントを開催すること」を担当者に提言した。